

「あらかわの心」ニュース



第18号 平成26年3月5日発行

〔発行〕「あらかわの心」推進運動区民委員会
〔事務局〕〒116-8501 荒川区荒川 2-2-3 荒川区子育て支援部児童青少年課内 TEL 3802-3111 内線 3833 FAX 3802-0809
〔メールアドレス〕 arakoko@city.arakawa.tokyo.jp 〔ホームページアドレス〕 http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kosodate/index.html

第5回「あらかわの心」カルタ大会

平成26年2月1日(土)、南千住ふれあい館において「あらかわの心」カルタ大会を開催しました。

今年で5回目を迎えたカルタ大会は、「あらかわの心」推進運動区民委員会が作成したカルタを使った競技会です。

当日は、未就学児の部、小学1・2年生の部、小学3から6年生の部に分かれ66名の参加者がメダル獲得を目指して熱い戦いを繰り広げました。

競技会には、家族や友達も応援にかけつけ、大いに盛り上がりました。

これまで区内5地域でカルタ大会を開催してきましたが、参加者のレベルが年々高くなっているように感じられます。また、3年連続でメダ



▲真剣勝負を繰り広げています

ルを獲得する実力者が現れるなど、子どもたちに「あらかわの心」カルタが浸透してきている様子が見えてきました。

カルタ大会を通して、子どもたちが積極的に「あらかわの心」に触れることで、推進運動の輪をさらに広げていきたいと思

います。

各部の優勝者は以下のとおりです。

- ・未就学児の部
沖田胡桃さん(田端さくら幼稚園)
- ・小学1・2年生の部
高谷友里さん(尾久西小)
- ・小学3から6年生の部
長谷川恵子さん(尾久宮前小)

尾久第六小学校で寸劇を上演

平成26年1月18日(土)、荒川区立尾久第六小学校にて、「あらかわの心」推進運動区民委員会幹事会メンバーによる寸劇「カルタ編」を上演しました。

当日は、道徳公開授業の一環として、児童・保護者の皆さん、学校評議員の方々の前で演じました。

皆さん真剣に見て下さり、ナレーターの問いかけにも大きな声で答え

てくれました。上演後は、児童の代表の方から感謝の言葉をいただいたほか、全校児



▲上演の様子

童の皆さんから寸劇を見て感じたこと・考えたことについて、お手紙もいただきました。「もっと元気にあいさつをしようと思った」、「駐輪場のルールを守ります」、「お年寄りに優しく接したい」といった言葉がたくさん書かれており、この寸劇で伝えたい「あらかわの心」を子どもたちはしっかりと受け止め、理解してくれたようです。これからの生活の中で、ぜひ実践してほしいと思います。

子どもたちの「楽しかった」、「また見たい」という多くの声を励みに、今後も活動を続けてまいります。

第63回「社会を明るくする運動」作文コンテスト

平成26年1月9日(木)、東京保護観察所(千代田区霞が関)において、第63回「社会を明るくする運動」作文コンテストの表彰式が行われました。

応募作品9179作品の中から、荒川区立第三瑞光小学校の3名の作品が優秀賞に選ばれました。そのほか、奨励賞(東京保護観察所長感謝状)を荒川区立第四峡田小学校と荒川区立南千住第二中学校が受賞しました。

優秀賞を受賞した3名は、校長先生とともに表彰式終了後に区長室を訪れ、西川区長へ受賞の報告を行いました。

受賞作品につきましては、区ホームページ(子育て応援サイト)に掲載しています。



▶写真左より佐藤さん、中西さん、西川区長、赤塚さん、松延校長(三瑞小)

〈小学生の部〉

☆優秀賞(東京都推進委員会委員長賞)
第三瑞光小学校6年 赤塚由夏さん

「明るく社会を目指して」

☆優秀賞(東京都公立小学校長会会長賞)
第三瑞光小学校6年 佐藤涼香さん

「つなげよう「人の和」を」

☆優秀賞
(更生保護法人東京保護観察協会理事長賞)
第三瑞光小学校6年 中西花乃さん

「忘れてはいませんか」

☆奨励賞(東京保護観察所長感謝状)
第四峡田小学校
南千住第二中学校

「おはようございます。」1年生から6年生までの縦割り班のメンバーが、毎朝「こにちレンジャー」のたすきを掛けて、日暮里中央通りに面した校門に立って挨拶をしています。

今日も元気な「こにちレンジャー」あいさつ隊



▲班のメンバーと元気に挨拶中

「あいさつ隊」の活動は、朝8時15分の始業に合わせて、約10分間行っています。

この「あいさつ隊」は、平成15年、入学生0名という学校の危機に際し、保護者、地域、児童が一体となり、児童の活動のひとつとして始まりました。

現在も地域の方々や「荒川区日暮里安全・安心ステーション」の方々が、児童の活動を見守ってくださっています。荒川区の下町らしい風情の中で、

伝統を大切に、これからも大きな声でさわやかな挨拶を交わしていきたいと思

います。荒川区立第二日暮里小学校 校長 水井雅史

尾久小学校「みんなのエコロジー」

例年、夏の暑い日差しの中、子どもたちはこぞとみどりのカーテンに水やりを行います。尾久小学校では、いち早く自然環境について考え、生態観察に取り組んできました。

そのひとつとして、9月の水泳授業が終了した後のプールを利用したものが、「トンボが卵を産みつけに来るよう、4年生がイカダ作りを行いプールに設置し、翌年6月に、3年生が卵から成長したトンボのヤゴを各家庭に持ち帰り羽化させ自然に還す」活動を行っています。

こうした活動が心をつないでいき、児童一人ひとりが自然とのふれあいを通して共生し、心豊かな優しい子どもたちに成長していただくことを願

っています。

荒川区立尾久小学校 PTA会長 光山隆久



▲プールでヤゴを探しています

「銭湯体験」 西尾久保育園の地域活動

平成25年10月22日(火)、荒川区立西尾久保育園の年長組の子どもたち15名が、小台商店街にある銭湯「梅の湯」に招待され、銭湯体験をしました。



▲紙芝居でマナーを学ぶ子どもたち

お風呂に入る前に、脱いだ服をきちんとたたむことや、体を洗ってから湯船に入ること、お風呂の中では走らないこと等「銭湯・お風呂マナー」を、紙芝居を見ながら学びました。その後、大きなお風呂にゆつたりのお風呂とつながりました。皆で1列に並んで背中を洗いつつをみると、銭湯の中は笑い声でいっぱいになりました。この日初めて銭湯に行った子どもは、「大きいお風呂、気持ちよかった」と嬉しそうに話していました。このことをきっかけに、後日家族で銭湯に出かけた子どももあり、地域活動が貴重な経験の第一歩となっています。

荒川区立西尾久保育園 鈴木庸子

「防災クリーン作戦」を実施 尾久消防少年団

尾久消防少年団は、平成25年11月3日(日)、都電荒川線町屋駅周辺でクリーン作戦を展開しました。当日、参加した団員32名が煙草の吸殻などのゴミ拾いを行ったほか、東京荒川西ライオンズクラブにも協力いただき、通行人にゴミ袋を配布しながら、環境美化と火災予防について呼びかけました。

その後、あらかわ遊園運動場で行われた「尾久つ子ワクワくまつり」会場に移動し、住宅用火災警報器の設置促進等、防火防災に関するPRを行いました。

尾久消防少年団では、こうした活動のほか、高齢者福祉施設の慰問や献血の呼びかけ等の社会貢献活動を通じて、地域住民に対する防火防災思想の普及に努めています。



中村美智子

▶町屋駅周辺のゴミ拾いの様子

「素盞雄神社庭燎奉仕」 ボーイスカウト

毎年恒例の大晦日から新年にかけての庭燎奉仕を、荒川区内のボーイスカウトのうち高校生・大学生年代の奉仕希望スカウト9名と指導者6名で行いました。

大晦日の午前中に、新年に掲げる国旗の掲揚法確認と、かがり火の準備を行い一旦帰宅。午後10時に再度集合し、かがり火を焚き参拝される方々への安全確保を行いながら、火を絶やさないよう焚き続けました。

新年の訪れの合図とともに、正面の国旗掲揚柱に日の丸を掲げ、行列をなしていた初詣に訪れた参拝者と共に新年をお祝いしました。多くの参拝者ににぎわう中、午前2時頃まで奉仕活動が続けました。

奉仕に参加したスカウト達も、自分たちの住む地域の氏神様である素盞雄神社の催事に参加し、少しでも訪れる皆様方のお役に立てたのでは、と喜びを感じている様子でした。それぞれの新年の第一歩を清々しく迎えるとともに、活動の第一歩を記しました。

荒川区ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会
荒川第一団副団員長
花鳥克夫



▲活動に参加したメンバー

「みんなで楽しく」 「ドッチビー大会」

平成25年12月1日(日)午後1時より、荒川区立第四峡小学校体育館にて、荒川区青少年育成町屋地区委員会育成部主催による「ドッチビー大会」を開催しました。

今年で5回目を迎えた今大会は、10チームの選手、総勢150名が参加して行われ、「スポーツ推進委員」の方々の指導により、元気に楽しく試合が進められました。結果は、優勝(五峡小B)、進優勝(五峡小A)、第三位(七峡小A)となり、白熱した大会となりました。参加者は、スポーツ日和の一日を過ごしました。

荒川区青少年育成町屋地区委員会 柴田優子



▲優勝目指して熱戦中!

「レインボー子ども会クリスマス会」

平成25年12月22日(日)、荒川区立尾久第六小学校のランチルームで、レインボー子ども会のクリスマス会が行われました。毎年の行事ではありますが、事前に手作り工作や出し物を考えます。今年はリース作りが決まり、来ていただいた七寿会や末広会の15人のお年寄りの方々と一緒に、知恵をお借りしながら、反対にコツを覚えてあげたりしながら作りました。皆さんの楽しそうな笑顔を見ることができてとてもうれしかったです。地域の方々とは普段あまりお話をする機会がないので、

めになる事もあります。心暖まるお話もしていただいてアットホームな雰囲気の中、途中、劇やビンゴゲームで盛り上がり、お弁当やおやつを食べてあっという間に3時間が過ぎてしまいました。

毎年私は、地域の皆さんに見守られていることを実感します。私たちが子どもたちも、決まりを守り、あいさつをし、思いやりの気持ちを忘れないうように心掛けようと思います。

レインボー子ども会 斉藤菜乃花



▲色鮮やかなリースが出来ました

「フィリピン台風 災害救援募金報告」

平成25年11月30日(土)、フィリピン台風災害救援募金活動を町屋駅前にて行ったところ17万円余の募金が集まりました。12月6日(金)の福島物産販売時に寄せられた募金と合わせて20万円をフィリピンの被災者救援に使用しました。世田谷西ライオンズクラブと3301A緊急アラート委員会が協力し、日本でお菓子の入ったク



▲笑顔を見せてくれた子どもたち

者のための仮設住宅数箇所では、皆さんに大変喜んでいただけました。東京荒川西ライオンズクラブ 宮本慶文

リスマスプレゼント用のブーツの購入に義捐金があてられました。品物はライオンズメンバーと共に12月13日、海を渡り、翌14日に被災地のポホル島で子どもたちに直接配布しました。家を失った被災者

「荒小P連OB会の 研修旅行」

今回の研修旅行は、箱根奥湯本の「天山湯治郷」へ日帰り温泉に行つてまいりました。



▲参加メンバーで記念撮影

9月末という時期に、野天風呂に浸りつつ降り頻る蝉の声と飛び交う赤とんぼの光景に季節の移ろ

いを感じながら、日頃の心身の疲れを癒す貴重な時間を過ごしました。また、夕げ時には、子どもたちの将来を案じる話で持ち切りでした。次回はより多くの方々のご出席で、またこのような機会が持てたらよいと思う次第でございます。

荒川区立小学校PTA連合会OB会 木村淳一



心の東京革命とは、次代を担う子どもたちに対して、親と大人が責任をもって正義感や倫理観、思いやりの心を育み、人が生きていく上で当然の心得を伝えていく取組です。